

- 問1 ヨーロッパで発達した「混合農業」が、穀物栽培と家畜の飼育を組み合わせで行っている主な理由として、仕組みの観点から正しいものを選びなさい。（2019年 新潟県公立入試 類似）
1. 農作物が凶作の際、家畜を野生に戻すことで食料不足のリスクを回避するため。
 2. 夏の強い乾燥から作物を守るために、家畜に水を運ばせる必要があるため。
 3. 家畜の糞を肥料として利用して土地の肥沃さを保ちつつ、飼料用穀物も自給するため。
 4. 山岳地帯の急斜面を効率的に利用するために、家畜を移動させる必要があるため。
- 問2 ヨーロッパの主要国であるドイツの農業統計において、小麦やじゃがいもの生産量が多く、米の生産がほとんど見られない理由と、その統計的な特徴の説明として正しいものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. アジアから伝わった稲作技術により、温暖な南部を中心に米の生産量が小麦を上回るようになり、じゃがいもは飼料用としての生産に限られる。
 2. 地中海性気候を利用したオリーブやぶどうの栽培に特化しており、穀物の中では小麦よりも米の輸入額が統計上の大半を占める。
 3. 熱帯の広大な農地でとうもろこしの大規模な機械化栽培が行われており、じゃがいもよりもとうもろこしの生産量が圧倒的に多い。
 4. 冷涼な気候が稲作には適さない一方で、寒さに強い小麦やじゃがいもの栽培に適しており、統計上もじゃがいもの生産量がとうもろこしを大きく上回る。
- 問3 フランス、インドネシア、アメリカ、コートジボワールの4か国の統計データを比較したとき、フランスの輸出品目の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。なお、比較対象の国々には石炭、パーム油、カカオ豆などを主な輸出品とする国が含まれているものとします。（2021年 新潟県公立入試 類似）
1. 衣類や履物などの軽工業製品が輸出額の大部分を占めている
 2. 航空機や自動車などの高度な技術を要する機械類が輸出の上位を占めている
 3. 石炭やパーム油といった鉱産資源や熱帯地域の農産物が輸出の中心となっている
 4. カカオ豆などの特定の一次製品の輸出に頼るモノカルチャー経済の傾向が強い
- 問4 2004年に夏季オリンピックが開催されたギリシャなど、地中海沿岸の国々において、地域の気候の特色を活かして盛んに生産されている農産物の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2023年 長崎県公立入試 類似）
1. 茶・米・大豆
 2. オリーブ・ブドウ・小麦
 3. 天然ゴム・コーヒー・油やし
 4. カカオ・サトウキビ・バナナ
- 問5 北緯40度以北の高緯度に位置するヨーロッパ州の西部が、同緯度の他の地域に比べて冬でも比較的温暖な気候を保っている理由として、最も適切なものはどれですか。（2025年 沖縄県公立入試 類似）
1. 赤道付近から北上する暖流の黒潮と、大陸から吹く冷たい季節風の影響を受けているため
 2. 地中海沿岸から北上する寒流のリマン海流と、夏に吹く季節風の影響を強く受けているため
 3. 北極圏から南下する寒流の千島海流の影響により、一年を通じて気温の変化が抑えられているため
 4. 大西洋を北上する暖流の北大西洋海流と、その上の温かい空気を陸地に運ぶ偏西風の影響を受けているため
- 問6 ヨーロッパ州の農業において、広大な国土と肥沃な平原を活用し、統計上の穀物自給率が180パーセントを超えるほど盛んに農産物を生産している国があります。この国の農業の特徴として最も適切な説明はどれですか。（2026年 愛知県公立入試 類似）
1. 地中海沿岸の気候を活かしたオリーブやブドウの生産が中心で、穀物は輸入に頼っている
 2. 国土の多くが丘陵地であるため、デンマークのように酪農や豚の飼育を主に行っている
 3. ヨーロッパ最大級の農業国であり、特に小麦などの穀物を世界各地へ輸出している
 4. 国土が狭いため集約的な園芸農業が発達しており、穀物の自給率は極めて低い
- 問7 世界で最も広い国土を持つロシア連邦について、人口は約1億4300万人である一方、面積あたりの人口密度を算出すると1平方キロメートルあたり約8人と、極めて低い数値を示しています。このような特徴を持つロシア連邦から日本へ輸出されている主な品目として、上位を占める鉱産資源の正しい組み合わせを選びなさい。（2017年 三重県公立入試 類似）
1. 原油、液化天然ガス、石炭
 2. 小麦、大豆、コーヒー豆
 3. 鉄鉱石、銅、アルミニウム
 4. 機械類、自動車、電子部品
- 問8 ドイツの経済と農業に関する記述として正しいものはどれですか。共通通貨と、ドイツの北部から中部にかけて盛んな農業形態の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2022年 大分県公立入試 類似）
1. ユーロと地中海式農業
 2. ユーロと混合農業
 3. マルクと地中海式農業
 4. マルクと混合農業
- 問9 ニ〇二二年の主要国の発電事情に関する資料において、総発電電力量が五千七百七十三億キロワット時であり、その内訳が化石燃料四十五・九パーセント、再生可能エネルギー四十一・〇パーセント、原子力が三・〇パーセント以下となっている国があります。比較される主要国の中で再生可能エネルギーの発電割合が最も高いこの国はどこですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）
1. 日本
 2. ドイツ
 3. フランス
 4. アメリカ合衆国
- 問10 ヨーロッパの主要な農業国であるフランスについて、統計資料において穀物自給率が184.0パーセントという極めて高い数値を示している理由を、地形や産業の背景から説明したものとして適切なものはどれですか。（2026年 愛知県公立入試 類似）
1. EUの共通農業政策によって、穀物の生産よりも乳製品の加工・輸出に特化したため
 2. アルプス山脈の急斜面を切り拓いた段々畑で、効率的に穀物を生産しているため
 3. スペインと同様に乾燥した気候を利用し、灌漑施設によってオリーブ栽培を大規模化したため
 4. 広大な平原での大規模な小麦生産により、国内消費を大幅に上回る収穫量があるため
- 問11 EU（欧州連合）域内での自由な移動の影響について説明した次の文章の（ ）に当てはまる言葉の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。「EU内では国境を越えた移動が自由であるため、所得格差を背景に（①）から（②）へと人々が移動する傾向がある。その結果、（①）の諸国では、働き手が流出することによる（③）が大きな社会問題となっている。」（2024年 大分県公立入試 類似）
1. ① 南ヨーロッパ ② 西ヨーロッパ ③ 出生率の急激な上昇
 2. ① 西ヨーロッパ ② 東ヨーロッパ ③ 失業率の上昇
 3. ① 東ヨーロッパ ② 西ヨーロッパ ③ 労働力の不足
 4. ① 東ヨーロッパ ② 北ヨーロッパ ③ 人口密度の過密化
- 問12 2004年に欧州連合（EU）に加盟したチェコでは、ドイツやスペインといった国々と比較して自動車の生産台数が大幅に増加しました。チェコにおいてこのように工業生産が活性化した背景として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
1. EU加盟によって関税が撤廃されたことで、ドイツなどの周辺諸国に比べて賃金が低いチェコに、コストを抑えたい外国企業の工場進出が進んだから。
 2. EU加盟国間で独自の高い関税を設定したことで、域外からの安価な自動車の流入が阻止され、チェコ国内の自動車メーカーが保護されたから。
 3. EU加盟を機に、西ヨーロッパの主要国からチェコへ熟練した労働者が大量に移住し、最新の技術を駆使した自国ブランドの生産が始まったから。
 4. EU共通の経済政策によって、チェコの賃金をドイツと同じ高い水準まで引き上げる補助金が支給され、労働者の労働意欲が向上したから。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 家畜の糞を肥料として利用して土地の肥沃さを保ちつつ、飼料用穀物も自給するため。	混合農業は、家畜の飼育によって得られる堆肥を穀物畑に投入することで土地の肥沃さを維持し、一方で栽培した穀物の一部（ライ麦やカブなど）を家畜の餌にするという、循環型の仕組みを持っています。これにより、限られた農地から人間用の食料と家畜由来の製品を安定して得ることができます。
問2	答え 4 冷涼な気候が稲作には適さない一方で、寒さに強い小麦やじゃがいもの栽培に適しており、統計上もじゃがいもの生産量がとうもろこしを大きく上回る。	ドイツは高緯度に位置し、全体的に冷涼な気候であるため、古くから寒さに強い小麦やじゃがいものが栽培されてきました。実際の統計においても、とうもろこしの生産量（約455万トン）に対してじゃがいもの生産量（約1172万トン）が2倍以上となっており、米の生産がゼロであることと併せて、ドイツの食文化や気候条件を強く反映した数値となっています。
問3	答え 2 航空機や自動車などの高度な技術を要する機械類が輸出の上位を占めている	フランスは西ヨーロッパを代表する工業国であり、その産業構造は高度に発展しています。統計データにおいて、発展途上国が輸出するようなカカオ豆（コートジボワールなど）や石炭・パーム油（インドネシアなど）とは異なり、付加価値の高い航空機や自動車、医薬品などが輸出品目の上位に並ぶのが特徴です。特に航空機産業はフランス経済を支える重要な柱となっています。
問4	答え 2 オリーブ・ブドウ・小麦	ギリシャをはじめとする地中海沿岸諸国では「地中海式農業」が行われています。夏の乾燥する時期にはオリーブ、ブドウ、コルクがし、オレンジなどの果樹栽培が行われ、冬の降水を利用して小麦を栽培します。他の選択肢にある天然ゴムやカカオは熱帯のプランテーション、茶や米はアジアの季節風（モンスーン）地域で主に生産される作物です。
問5	答え 4 大西洋を北上する暖流の北大西洋海流と、その上の温かい空気を陸地に運ぶ偏西風の影響を受けているため	ヨーロッパの西側を流れる北大西洋海流は、低緯度から温かい海水を運ぶ暖流です。この暖流の上空を通る偏西風（一年中西から吹く風）が温かい空気をヨーロッパ大陸へと運ぶため、高緯度であっても冬の寒さが和らぎ、西岸海洋性気候と呼ばれる穏やかな気候が形成されます。
問6	答え 3 ヨーロッパ最大級の農業国であり、特に小麦などの穀物を世界各地へ輸出している	フランスはヨーロッパ州最大の国土面積を持ち、北部や中央部に広がるパリ盆地などの肥沃な平原を利用して、大規模な小麦栽培が行われています。その生産量は国内の消費量を大きく上回るため、余剰分は欧州連合（EU）域内や世界各国へ輸出されており、世界有数の農業輸出国としての地位を確立しています。
問7	答え 1 原油、液化天然ガス、石炭	ロシア連邦は広大な国土に豊富な地下資源を有しており、日本との貿易においてはエネルギー資源の輸出が中心となっています。特に、原油、液化天然ガス（LNG）、石炭といった化石燃料は、日本のエネルギー供給において重要な位置を占めています。人口密度が1平方キロメートルあたり約8人と低いのは、国土が非常に広大であることや、シベリアなど寒冷で居住が困難な地域を多く含んでいるためです。
問8	答え 2 ユーロと混合農業	ドイツは欧州連合（EU）の主要な加盟国であり、共通通貨であるユーロを導入しています。農業については、冷涼な気候に合わせてライ麦やジャガイモなどの穀物・飼料作物の栽培と、豚や牛などの家畜の飼育を組み合わせた混合農業が北部から中部にかけて盛んに行われています。地中海式農業は、夏季に乾燥するイタリアやスペインなどの南欧で見られる形態であるため、ドイツの地理的条件とは異なります。
問9	答え 2 ドイツ	ドイツは「エネルギー転換（エネルギーヴェンデ）」を国策として掲げ、風力や太陽光などの再生可能エネルギーの導入を強力に進めてきました。その結果、主要国の中でも再生可能エネルギーの発電割合が極めて高い水準にあります。一方、フランスは原子力発電の割合が非常に高く、アメリカ合衆国は総発電電力量が桁違いに大きいという特徴があります。
問10	答え 4 広大な平原での大規模な小麦生産により、国内消費を大幅に上回る収穫量があるため	フランスの穀物自給率が100パーセントを大きく超えているのは、自給自足のためだけではなく、最初から輸出を目的とした大規模な農業経営が行われているからです。特にパリ盆地周辺では、大型の農業機械を導入した効率的な小麦栽培が行われており、これがフランスを「ヨーロッパのパンかご」と呼ばれるほどの農業大国にしています。
問11	答え 3 ① 東ヨーロッパ ② 西ヨーロッパ ③ 労働力の不足	EU域内では、経済的に豊かな西ヨーロッパ諸国と、旧社会主義国が多い東ヨーロッパ諸国の間に賃金格差が存在します。そのため、より良い生活条件を求めて東ヨーロッパから西ヨーロッパへ人々が移動します。この結果、東ヨーロッパでは自国で働く人々が減少し、経済成長を支えるための「労働力の不足」が顕著になっています。これは地域格差の是正を目指すEUにとっての大きな課題の一つです。
問12	答え 1 EU加盟によって関税が撤廃されたことで、ドイツなどの周辺諸国に比べて賃金が低いチェコに、コストを抑えたい外国企業の工場進出が進んだから。	欧州連合（EU）の加盟国間では関税が撤廃されるため、モノの移動が自由になります。チェコはドイツなどの西ヨーロッパ諸国と比較して賃金が低いため、生産コストを抑えたい外国企業が積極的に工場を建設しました。これにより、加盟後に自動車などの工業生産が急増し、経済が活性化しました。地理的な近接性と低賃金、そして関税の撤廃という条件が組み合わさった結果です。